

法務大臣

谷垣 禎一様

国の施策等に関する 提案・要望書

(平成26年7月)

鳥取県自治体代表者会議
鳥取県地方分権推進連盟

鳥取県知事	平野伸治
鳥取県議会議長	井田義彦
鳥取県市長会長	深澤義章
鳥取県市議会議長会副会長	湯口史夫
鳥取県町村会長	松本昭夫
鳥取県町村議会議長会長	佐々木秀明

外航クルーズ船寄港および国際航空路線の拡充等に伴うC I Q体制の充実について

《提案・要望の内容》

○地方における外航クルーズ船や国際チャーター便の就航について、円滑な受入れを行うため、C I Q体制の充実を図ること。

※地方における外航クルーズ船、国際航空路線の円滑な運航には、C I Q体制が十分に確保されることが不可欠である。特に、本年2014年には境港への世界最大級（乗客3,000人級）のクルーズ船寄港が予定されており、20回程度の寄港で乗客数は約3万人を見込んでいる。しかし、現在の体制では入国手続きに時間を要し、乗客が下船するまでに、大きく時間を費やすことが予想される。

※このため、境港へのC I Qに係る人員や審査機器の確保等、C I Q体制の充実を図るとともに、鳥取空港等地方の非検疫飛行場においても人員体制の充実が必要である。

〈参考〉鳥取県の取組状況

- 1 本県では、境港がアジアクルーズターミナル協会に加盟し、アジア地域の中国、台湾、韓国など、外航クルーズ船の誘致を積極的に行っている。

○平成25年(2013年)の国際定期便の運航状況 (平成26年3月末現在)

区分	路線・運航日	利用者数	利用率
空路	○米子鬼太郎空港～仁川国際空港（韓国）	(28,378)	(55.5)
	○毎週日・火・金曜日運航	24,384人	47.5%
航路	○境港～東海港（韓国）～ウラジオストク港（ロシア）	(24,940)	—
	○毎週金・（土）曜日運航	23,888人	—

※上段（ ）は前年実績

○平成25年(2013年)の外航クルーズ船・国際チャーター便の運航実績 (平成26年3月末現在)

区分	便数	運航実績
境港	17便	[外航クルーズ船]（年間乗客数：10,896人）17回 [航空便]台湾：10便、香港：44便、ロシア：6便
鳥取空港	10便	
米子鬼太郎空港	50便	
計	77便	

- 2 今後も、山陰唯一の国際航空路線である米子～ソウル便に次ぐ、将来の新たな国際定期便就航を睨んで、香港、台湾、中国、ロシア沿海地方等東アジア地域をターゲットに、インバウンド国際チャーター便の就航を働きかけ、本県への外国人観光誘客を一層促進する。

○平成26年度(2014年)の外航クルーズ船・国際チャーター便の運航予定

区分	便数	運航予定
境港	20便	[外航クルーズ船] 乗客3,000人級の大型クルーズ船等が境港に入港し、年間乗客数は過去最高で1万人を突破した平成25年の記録を大幅に上回る約3万人を見込んでいる。 [航空便] 香港、台湾、ロシア、タイなど
鳥取空港	8便	
米子鬼太郎空港	48便	
計	76便	